

## 運用報告書（全体版）

# 楽天ボラティリティ・ファンド （毎月分配型）／（資産成長型） ＜愛称：楽天ボルティ＞

## （毎月分配型）

第121期(決算日：2024年5月13日) 第124期(決算日：2024年 8月13日)  
第122期(決算日：2024年6月12日) 第125期(決算日：2024年 9月12日)  
第123期(決算日：2024年7月12日) 第126期(決算日：2024年10月15日)

## （資産成長型）

第21期(決算日：2024年10月15日)

### 受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いましたので、当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 楽天投信投資顧問株式会社

<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号

本資料(運用報告書(全体版))の記載内容のお問い合わせ先

TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。(両ファンド共通)

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型
信託期間	2014年4月23日から2034年4月11日まで
運用方針	「楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)」(「主要投資先ファンド」)を主な投資対象とすることにより、主として、ボラティリティ関連指数に連動する投資商品(ボラティリティ関連資産)への実質的な投資を行い、投資信託財産の成長を目指します。また、投資信託財産の一部を、米国短期国債を主な投資対象とする上場投資信託証券(ETF)に投資します。 主要投資先ファンドにおいて、組入外貨建資産の割合に応じて対円での為替ヘッジを行います。ヘッジ比率は80%程度以上を基本とします。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## ■本資料の表記に関する注記

- ・金額等の数値は表記未満切捨または四捨五入により表示しております。このため、各項目の合計の値が合計欄と一致しないことがあります。
- ・－印は、組入・売買が無いことを示します。

最近5作成期の運用実績

決算期	(分配落)	基準価額		投資信託証券 組入比率	純資産総額	
		税込 分配金	期 騰落率			
	円	円	%	%	百万円	
第17 作成期	97期(2022年 5月12日)	5,516	30	△4.3	98.9	497
	98期(2022年 6月13日)	5,479	30	△0.1	99.2	484
	99期(2022年 7月12日)	5,421	30	△0.5	99.6	486
	100期(2022年 8月12日)	5,694	30	5.6	99.2	511
	101期(2022年 9月12日)	5,561	30	△1.8	99.7	500
	102期(2022年10月12日)	5,520	30	△0.2	99.6	496
第18 作成期	103期(2022年11月14日)	5,563	30	1.3	99.6	484
	104期(2022年12月12日)	5,636	30	1.9	98.7	489
	105期(2023年 1月12日)	5,746	30	2.5	98.9	492
	106期(2023年 2月13日)	5,727	30	0.2	99.6	482
	107期(2023年 3月13日)	5,594	30	△1.8	99.1	472
	108期(2023年 4月12日)	5,568	30	0.1	99.1	465
第19 作成期	109期(2023年 5月12日)	5,668	30	2.3	99.5	471
	110期(2023年 6月12日)	6,095	30	8.1	99.1	579
	111期(2023年 7月12日)	6,253	30	3.1	100.0	572
	112期(2023年 8月14日)	6,161	30	△1.0	99.6	477
	113期(2023年 9月12日)	6,256	30	2.0	99.0	481
	114期(2023年10月12日)	6,000	30	△3.6	99.2	460
第20 作成期	115期(2023年11月13日)	5,975	30	0.1	99.4	455
	116期(2023年12月12日)	6,268	30	5.4	98.6	471
	117期(2024年 1月12日)	6,255	30	0.3	98.6	406
	118期(2024年 2月13日)	6,280	30	0.9	100.1	404
	119期(2024年 3月12日)	6,190	30	△1.0	99.7	393
	120期(2024年 4月12日)	6,146	30	△0.2	99.5	388
第21 作成期	121期(2024年 5月13日)	6,099	30	△0.3	98.8	487
	122期(2024年 6月12日)	6,140	30	1.2	99.2	387
	123期(2024年 7月12日)	6,226	30	1.9	99.1	392
	124期(2024年 8月13日)	5,902	30	△4.7	99.3	370
	125期(2024年 9月12日)	5,585	30	△4.9	99.0	362
	126期(2024年10月15日)	5,501	30	△1.0	98.7	369

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	
第121期	(期 首)2024年 4月12日	円 6,146	% —	% 99.5
	4月末	6,064	△1.3	78.8
	(期 末)2024年 5月13日	6,129	△0.3	98.8
第122期	(期 首)2024年 5月13日	6,099	—	98.8
	5月末	6,070	△0.5	99.5
	(期 末)2024年 6月12日	6,170	1.2	99.2
第123期	(期 首)2024年 6月12日	6,140	—	99.2
	6月末	6,167	0.4	98.7
	(期 末)2024年 7月12日	6,256	1.9	99.1
第124期	(期 首)2024年 7月12日	6,226	—	99.1
	7月末	6,001	△3.6	98.6
	(期 末)2024年 8月13日	5,932	△4.7	99.3
第125期	(期 首)2024年 8月13日	5,902	—	99.3
	8月末	5,821	△1.4	98.2
	(期 末)2024年 9月12日	5,615	△4.9	99.0
第126期	(期 首)2024年 9月12日	5,585	—	99.0
	9月末	5,551	△0.6	98.8
	(期 末)2024年10月15日	5,531	△1.0	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投資信託証券 組 入 比 率	純資産総額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率		
	円	円	%	%	百万円
17期(2022年10月12日)	13,489	0	△1.4	99.6	441
18期(2023年 4月12日)	14,046	0	4.1	98.6	461
19期(2023年10月12日)	15,615	0	11.2	99.7	472
20期(2024年 4月12日)	16,487	0	5.6	98.7	439
21期(2024年10月15日)	15,249	0	△7.5	99.0	427

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

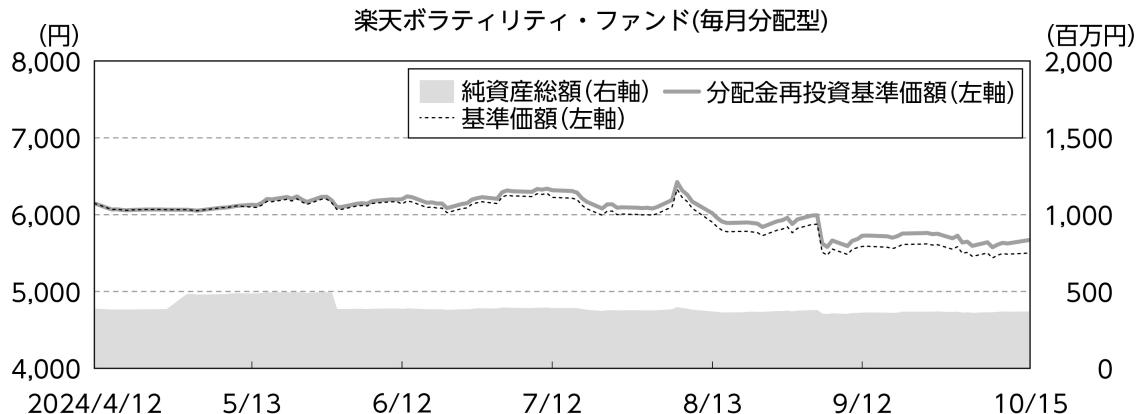
## 当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		投資信託証券 組 入 比 率
	騰 落 率		
(期 首)	円	%	%
2024年 4月12日	16,487	—	98.7
4月末	16,270	△1.3	98.7
5月末	16,411	△0.5	98.2
6月末	16,750	1.6	99.3
7月末	16,379	△0.7	99.1
8月末	15,959	△3.2	99.3
9月末	15,307	△7.2	99.2
(期 末)			
2024年10月15日	15,249	△7.5	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

当(作成)期中の運用経過と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第121期首：6,146円

第126期末：5,501円(既払分配金180円)

騰 落 率：△7.7%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

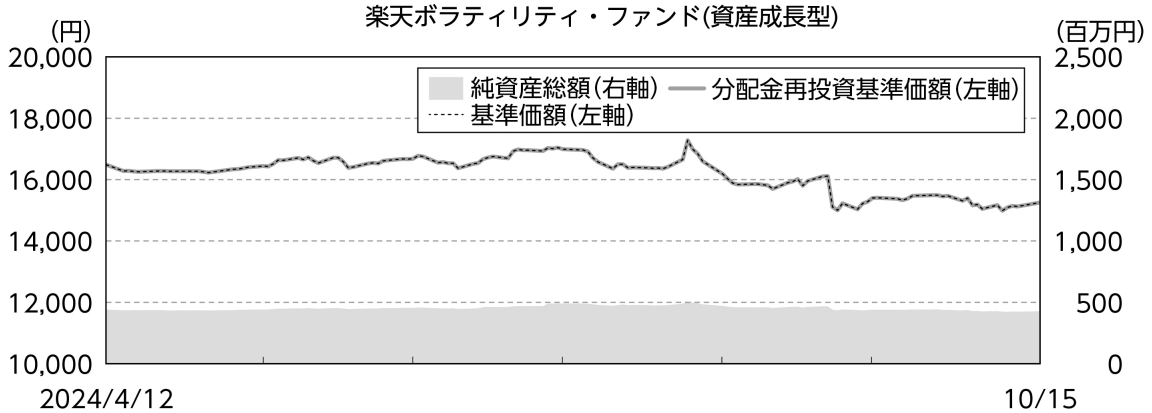
楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)

当ファンドの基準価額の主な変動要因としては、主要投資先である楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)(以下、「主要投資先ファンド」といいます。)の基準価額変動があげられます。主要投資先ファンドは、ボラティリティ関連指数に連動する投資商品への投資を行います。主要投資先ファンドの基準価額の変動要因としては、実質的な最終投資対象であるVIX先物およびVIX先物の原資産であるVIXの値動きが主要な要素となります。

当作成期のVIXは2024年7月から8月にかけて、および9月上旬や10月上旬に大きく上昇するなど、振れ幅が短期間で急拡大する局面が目立ちました。

投資先ファンドのポートフォリオではVIX先物の売り持ちを保持する期間が多かったものの、こうしたVIXの値動き等を受けて、7月終わりから8月にかけてVIX先物の買い持ちを構築しました。また、米大統領選挙の影響で選挙直前に満期を迎える期近限月の価格が期先限月の価格より高くなる状況を受けて9月後半以降はVIX先物売り持ちを構築しながらも、その残高を抑制する運営としました。しかし、7月後半以降のVIXの上昇局面が長続きせず、短期間で低下する動きとなったことから、VIX先物の買い持ちに切り替わる前の段階でVIX先物の売り持ち高を減らしていた局面や、VIX先物の買い持ちに切り替わった後のタイミングで、保有ポジションからの損失が膨らむ結果となったほか、9月初旬には売り持ちを構築していたなかでVIX先物が急騰したことから、基準価額が大きく押し下げられました。一方、5月から7月半ばにかけては、VIX先物がコンタンゴ(期近の限月ほど価格が低い状況)を形成しながら低位に推移するなか、VIX先物の売り持ちから収益を積み重ねました。なお、投資先ファンドでは、米ドル建て資産に対する為替ヘッジ比率について90%超の水準を維持し、為替変動による影響を抑制する運用を行いました。

■基準価額等の推移



期首：16,487円

期末：15,249円(既払分配金0円)

騰落率：△7.5%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■基準価額の主な変動要因

楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)

当ファンドの基準価額の主な変動要因としては、主要投資先ファンドの基準価額変動があげられます。主要投資先ファンドは、ボラティリティ関連指数に連動する投資商品への投資を行います。主要投資先ファンドの基準価額の変動要因としては、実質的な最終投資対象であるVIX先物およびVIX先物の原資産であるVIXの値動きが主要な要素となります。

当期のVIXは2024年7月から8月にかけて、および9月上旬や10月上旬に大きく上昇するなど、振れ幅が短期間で急拡大する局面が目立ちました。

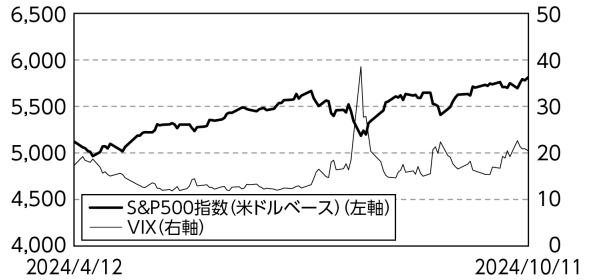
投資先ファンドのポートフォリオではVIX先物の売り持ちを保持する期間が多かったものの、こうしたVIXの値動き等を受けて、7月終わりから8月にかけてVIX先物の買い持ちを構築しました。また、米大統領選挙の影響で選挙直前に満期を迎える期近限月の価格が期先限月の価格より高くなる状況を受けて9月後半以降はVIX先物売り持ちを構築しながらも、その残高を抑制する運営としました。しかし、7月後半以降のVIXの上昇局面が長続きせず、短期間で低下する動きとなったことから、VIX先物の買い持ちに切り替わる前の段階でVIX先物の売り持ち高を減らしていた局面や、VIX先物の買い持ちに切り替わった後のタイミングで、保有ポジションからの損失が膨らむ結果となったほか、9月初旬には売り持ちを構築していたなかでVIX先物が急騰したことから、基準価額が大きく押し下げられました。一方、5月から7月半ばにかけては、VIX先物がコンタンゴ(期近の限月ほど価格が低い状況)を形成しながら低位に推移するなか、VIX先物の売り持ちから収益を積み重ねました。なお、投資先ファンドでは、米ドル建て資産に対する為替ヘッジ比率について90%超の水準を維持し、為替変動による影響を抑制する運用を行いました。

■投資環境

当期の米国株式市場は2024年7月から8月にかけて、および9月上旬にまとまって下落する局面があったものの、期を通してみると上昇基調を保ちました。

7月から8月にかけては、民主党の候補者の交代を経て米大統領選挙の不透明感が強まるなかで、企業決算の時期も重なり、これまでの大幅な株価上昇で利益の出ている大型ハイテク株のポジションを一旦閉じる動きが広がりました。また、日本銀行の追加利上げやFRB(米連邦準備制度理事会)の利下げ期待の高まり等を受けて円キャリー取引(低い金利の円を借りて米ドル等の外貨に換え、期待リターンの高い資産に投資する手法)の巻き戻しが広がるとともにリスク資産のボラティリティが上昇したほか、雇用統計や景況感指数の下振れを受けて米国景気の減速懸念も高まり、株式市場での売り圧力が急速に強まりました。9月上旬は、経済指標の下振れを受けて米国の景気失速への懸念が再び高まったほか、生成AI(人工知能)の急成長に対する期待が修正される形で大手半導体関連株が調整したことから、株価指数に下押し圧力が強まりました。しかし、期を通して、FRBが早期に利下げ姿勢に転換することや、それにより米国経済が支えられてソフトランディング(軟着陸)を達成することへの期待が大きく崩れることは無く、いずれの調整局面もすぐに反転する展開となりました。

こうした株価の変動に合わせて、VIXは7月から8月にかけて、および9月上旬や10月上旬に大きく上昇する推移となりました。4月は株価下落に加え、イスラエルに対するイランのミサイル攻撃とイスラエルによる反撃が伝えられたことも材料に、一時2023年10月以来となる21ポイント台まで上昇しました。7月後半以降は株価軟調のなかで上昇圧力が強まっていき、8月5日には一時、2020年3月のコロナ危機以来の水準である65ポイント台まで急騰しました。また同日は終値ベースでも38.6ポイントと、前営業日終値からの騰落率が+64.9%となり、歴代で2位の上昇率となりました。9月も月初に半導体大手エヌビディアの株価が急落するなか、前月末比+30%超の騰落率でVIXが急騰したほか、10月上旬は大幅に上振れた米雇用統計を受けてFRBによる利下げ期待が巻き戻されたことに加え、米大統領選挙に対するヘッジ需要の高まりも背景に、株価は大きく崩れなかったもののVIXの上昇圧力が強まりました。しかし、こうした局面以外の大半の期間ではVIXは節目の20ポイントを下回って推移し、特に株価が安定的に上昇を続けた5月から7月中旬の期間は15ポイントを下回る動きとなりました。



(出所) ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。



## 楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)／(資産成長型)

VIX先物の各限月の水準は、8月初旬のVIX急騰時に期近物を中心に急上昇し、期近限月の価格が期先限月より高くなる、相場急変時の形状に急変しました。また、11月の米大統領選挙の不透明感が増すなか、選挙直前に満期を迎える10月限月の価格が、11月限月や12月限月よりも高くなる傾向が継続的に観測されました。しかし、8月初旬にVIX先物が急騰した局面でも、こうした期近価格の方が高い環境は短期間で収束し、米大統領選挙を挟む限月間での価格状況を除けば、大半の期間でコンタンゴ(期近の限月ほど価格が低い状況)が観測されました。

### ■当ファンドのポートフォリオ

#### 楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)は、楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)の受益証券(「主要投資先ファンド」)を主要投資対象とし、主要投資先ファンドを通じてボラティリティ関連指数に連動する投資商品への実質的な投資を行いました。

当作成期も、主要投資先ファンドのパフォーマンスを享受すべく、同ファンドの組入比率を高位に保ち、一部をSPDR® ブルームバーク 米国国債1-3ヵ月 ETF(米ドル建て)やコール・ローン等にて安定的に運用しました。

#### 楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)

楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)は、主要投資先ファンドを主要投資対象とし、主要投資先ファンドを通じてボラティリティ関連指数に連動する投資商品への実質的な投資を行いました。

当期も、主要投資先ファンドのパフォーマンスを享受すべく、同ファンドの組入比率を高位に保ち、一部をSPDR® ブルームバーク 米国国債1-3ヵ月 ETF(米ドル建て)やコール・ローン等にて安定的に運用しました。

### 【楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)のポートフォリオ】

※楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)の作成期間(2024年3月9日～2024年9月9日)における運用状況を記載しております。

楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)における投資戦略は、VIXや関連する指数の方向性やその変化の度合い、VIX先物の期間構造<sup>(※)</sup>等を総合的に分析したうえで構築されております。定量的な分析を土台に、VIX先物の目標エクスポージャーを日々計算しており、VIX先物の買い持ちや売り持ちポジション、あるいはETNを通じたVIX先物の実質的な買い持ちや売り持ちポジションをそれぞれ増減させます。

ポートフォリオにおいては、VIXが上昇し、限月毎のVIX先物の価格状況が変化した2024年4月や7月から8月にかけて、それまで保有していたVIX先物の売り持ち残高を減らした後、VIX先物の買い持ちに切り替えました。しかし、いずれのVIXの上昇も短期間に留まり、すぐに低下する動きとなったことから、VIX先物の売り持ち高を減らしていた局面や、VIX先物の買い持ちに切り替わった後のタイミングで保有ポジションからの損失が膨らむ結果となりました。また、9月上旬はVIX先物の売り持ちを保持していた状況でVIX先物が急騰し、基準価額を大きく押し下げました。一方、3月や5月から7月半ばにかけては、VIX先物がコンタンゴを形成しながら低位に推移するなか、VIX先物の売り持ちから収益を積み重ねました。

なお、米ドル建て資産に対する為替ヘッジ比率については、90%超の水準を維持し、為替変動による影響を抑制する運用を行いました。

\*VIX先物の期日までの期間による価格差異の状況

## 楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)／(資産成長型)

### ■当ファンドのベンチマークとの差異

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)および楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)は、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### ■分配金

#### 楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)

分配金額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます)等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定しました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

#### 楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)

投資信託財産の長期的な成長を追求する観点から、当期の分配は行わないことといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

### ●分配原資の内訳

#### 楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)

(1万口当たり・税込)

項 目	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期
	2024年4月13日～ 2024年5月13日	2024年5月14日～ 2024年6月12日	2024年6月13日～ 2024年7月12日	2024年7月13日～ 2024年8月13日	2024年8月14日～ 2024年9月12日	2024年9月13日～ 2024年10月15日
当期分配金 (円)	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率) (%)	(0.489)	(0.486)	(0.480)	(0.506)	(0.534)	(0.542)
当期の収益 (円)	30	30	15	30	30	8
当期の収益以外 (円)	—	—	14	—	—	21
翌期繰越分配対象額 (円)	1,681	1,688	1,673	1,674	1,675	1,653

(注1) 「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

#### 楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)

(1万口当たり・税込)

項 目	第21期
	2024年4月13日～ 2024年10月15日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	11,508

(注1) 「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)および楽天ボラティリティ・ファンド(資産成長型)は、主要投資先ファンドを主要投資対象とし、主要投資先ファンドを通じてボラティリティ関連指数に連動する投資商品への実質的な投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。主要投資先ファンドの組入比率は高位を維持します。

【楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)の今後の運用方針】

今後も、平常時と判断される局面では、VIX先物の売り持ちポジションを保有し、相場の大きな変動を受け、平常時からの転換が認められた際には、段階的にVIX先物の買い持ちポジションに切り替える運用を基本的な手法とします。

VIX先物は変動性の高い資産であり、VIX先物の売り持ちを行っている場合に、予期せぬ材料で相場急変が生じ、それを受けてVIXが急騰するような場面では、短期的に大きな損失を被ることが想定されます。また、相場急変を受けて、ポートフォリオがVIX先物の買い持ちに転じた後に、相場異変の懸念が一過性のものに終わり、VIXが急落するような場合にも損失を被ると想定されることにはご留意ください。

当ファンドにおける運用スタイルは、株式等、一般的なリスク資産の市場における平常時、暴落時双方での高い収益力と、その反面時折起こる一過性の市場急変において受ける損失とを総合して、中長期的に高い収益を獲得するというものです。今後もVIX先物のポジションを機動的に変動させることにより、市場平常時の収益力と、株式等の暴落時におけるヘッジ効果を両立させる運用を目指してまいります。

なお、外貨建て資産は、80%以上を基本として対円での為替ヘッジを行います。

1万口当たりの費用明細

項 目	当作成期		項 目 の 概 要
	2024年4月13日～2024年10月15日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬(基本報酬)	31円	0.521%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は5,945円です。
(a) (投信会社)	(10)	(0.168)	・委託した資金の運用の対価
(a) (販売会社)	(20)	(0.336)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(a) (受託会社)	(1)	(0.017)	・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 信託報酬(成功報酬)	—	—	(b) 信託報酬(成功報酬)＝(基準価額(成功報酬控除前)－ハイ・ウォーターマーク)×11%(税抜10%) 信託報酬(成功報酬)は、基本報酬に加えて委託会社が受領する委託した資金の運用の対価
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	7	0.115	(e) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(e) (保管費用)	(0)	(0.002)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(e) (監査費用)	(1)	(0.010)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(e) (印刷費用)	(6)	(0.104)	・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
(e) (その他)	(—)	(—)	・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	38	0.636	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

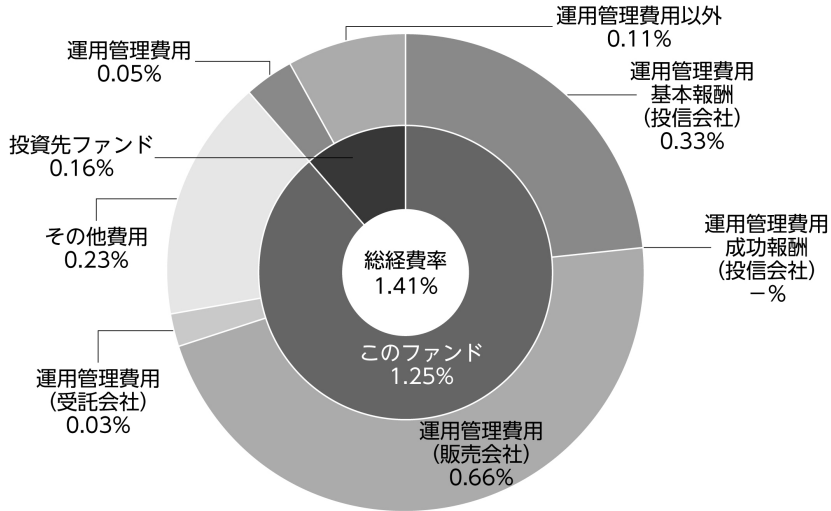
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

■ (参考情報) 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.41%です。



総経費率 (①+②+③)	1.41%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 売買および取引の状況

### ■投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		単位数又は口数	金 額	単位数又は口数	金 額
国		千口	千円	千口	千円
内	楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)	161,689	128,423	140,892	113,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

### 利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

### 自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

### 組入資産の明細

#### ■ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名		当 作 成 期 末		
		単位数又は口数	評 価 額	比 率
		千口	千円	%
	楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)	493,534	363,142	98.3
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	493,534 1	363,142 <98.3%>	

(注1) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 単位数又は口数、評価額の単位未満は切捨て。

#### ■ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名		当 作 成 期 末			比 率
		単位数又は口数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
		千口	千米ドル	千円	%
	SPDR® ブルームバーグ 米国国債1-3ヵ月 ETF	0.104	9	1,425	0.4
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	0.104 1	9 -	1,425 <0.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 単位数又は口数、評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位数又は口数、評価額が単位未満となる場合は小数で記載。

## 投資信託財産の構成

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 364,568	% 97.9
短 期 金 融 資 産、そ の 他	7,784	2.1
投 資 信 託 財 産 総 額	372,352	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建資産(1,637千円)の投資信託財産総額(372,352千円)に対する比率は、0.4%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=149.67円です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

### ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2024年5月13日)、	(2024年6月12日)、	(2024年7月12日)、	(2024年8月13日)、	(2024年9月12日)、	(2024年10月15日)現在
	第121期末	第122期末	第123期末	第124期末	第125期末	第126期末
(A)資 産	490,483,736円	389,673,920円	395,608,427円	374,876,119円	365,593,132円	372,352,222円
コール・ローン等	8,807,141	5,754,761	6,984,325	7,292,812	6,887,574	7,783,795
投資信託受益証券(評価額)	481,676,593	383,919,158	388,624,101	367,583,286	358,705,538	364,568,405
未 収 利 息	2	1	1	21	20	22
(B)負 債	3,084,595	2,536,552	3,263,965	4,707,247	3,429,432	2,966,360
未 払 収 益 分 配 金	2,397,428	1,891,547	1,890,526	1,881,604	1,945,293	2,014,543
未 払 解 約 金	242,130	197,138	974,073	2,405,214	1,103,829	533,741
未 払 信 託 報 酬	370,234	375,477	326,976	343,213	307,920	338,263
そ の 他 未 払 費 用	74,803	72,390	72,390	77,216	72,390	79,813
(C)純資産総額(A-B)	487,399,141	387,137,368	392,344,462	370,168,872	362,163,700	369,385,862
元 本	799,142,917	630,515,821	630,175,451	627,201,437	648,431,114	671,514,584
次 期 繰 越 損 益 金	△311,743,776	△243,378,453	△237,830,989	△257,032,565	△286,267,414	△302,128,722
(D)受 益 権 総 口 数	799,142,917口	630,515,821口	630,175,451口	627,201,437口	648,431,114口	671,514,584口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,099円	6,140円	6,226円	5,902円	5,585円	5,501円

(注) 期首元本額は631,794,730円、第121～126期中追加設定元本額は256,987,027円、第121～126期中一部解約元本額は217,267,173円です。

■ 損益の状況

第121期(自2024年4月13日 至2024年5月13日) 第124期(自2024年7月13日 至2024年 8月13日)  
 第122期(自2024年5月14日 至2024年6月12日) 第125期(自2024年8月14日 至2024年 9月12日)  
 第123期(自2024年6月13日 至2024年7月12日) 第126期(自2024年9月13日 至2024年10月15日)

項 目	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期
(A) 配 当 等 収 益	2,960,508円	2,338,225円	475,447円	2,314,529円	2,388,205円	979,682円
受 取 配 当 金	2,960,437	2,336,985	474,803	2,314,257	2,386,533	978,511
受 取 利 息	71	1,240	644	272	1,672	1,171
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△2,472,395	2,394,865	7,178,306	△20,212,953	△20,142,802	△4,089,697
売 買 益	96,342	3,684,310	7,251,254	149,947	123,518	85,481
売 買 損	△2,568,737	△1,289,445	△72,948	△20,362,900	△20,266,320	△4,175,178
(C) 信 託 報 酬 等	△445,037	△449,467	△400,972	△422,025	△381,801	△419,510
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	43,076	4,283,623	7,252,781	△18,320,449	△18,136,398	△3,529,525
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△6,764,577	△6,977,871	△4,486,773	889,198	△19,159,798	△39,108,209
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△302,624,847	△238,792,658	△238,706,471	△237,719,710	△247,025,925	△257,476,445
(配当等相当額)	(132,567,491)	(104,604,927)	(104,581,994)	(104,106,187)	(107,678,112)	(111,550,821)
(売買損益相当額)	(△435,192,338)	(△343,397,585)	(△343,288,465)	(△341,825,897)	(△354,704,037)	(△369,027,266)
(G) 計 (D+E+F)	△309,346,348	△241,486,906	△235,940,463	△255,150,961	△284,322,121	△300,114,179
(H) 収 益 分 配 金	△2,397,428	△1,891,547	△1,890,526	△1,881,604	△1,945,293	△2,014,543
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△311,743,776	△243,378,453	△237,830,989	△257,032,565	△286,267,414	△302,128,722
追 加 信 託 差 損 益 金	△302,624,847	△238,792,658	△238,706,471	△237,719,710	△247,025,925	△257,965,979
(配当等相当額)	(132,567,491)	(104,604,927)	(104,581,994)	(104,106,187)	(107,678,112)	(111,061,287)
(売買損益相当額)	(△435,192,338)	(△343,397,585)	(△343,288,465)	(△341,825,897)	(△354,704,037)	(△369,027,266)
分 配 準 備 積 立 金	1,837,799	1,829,575	875,482	900,098	964,173	223
繰 越 損 益 金	△10,956,728	△6,415,370	-	△20,212,953	△40,205,662	△44,162,966

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には成功報酬が含まれます。(消費税相当額を含めて表示しています。)なお、当作成期における成功報酬はありませんでした。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

項 目	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期
(A) 配当等収益額 (費用控除後)	2,515,471円	2,116,188円	450,547円	1,892,504円	2,006,404円	560,172円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	-円	-円	505,410円	-円	-円	-円
(C) 収益調整金額	132,567,491円	104,604,927円	104,581,994円	104,106,187円	107,678,112円	111,550,821円
(D) 分配準備積立金額	1,719,756円	1,604,934円	1,810,051円	889,198円	903,062円	965,060円
(E) 分配対象収益額 (A+B+C+D)	136,802,718円	108,326,049円	107,348,002円	106,887,889円	110,587,578円	113,076,053円
(F) 期末残存口数	799,142,917口	630,515,821口	630,175,451口	627,201,437口	648,431,114口	671,514,584口
(G) 収益分配対象額 (1万口当たり) (E/F×10,000)	1,711.85円	1,718.03円	1,703.45円	1,704.19円	1,705.44円	1,683.89円
(H) 分配金額 (1万口当たり)	30円	30円	30円	30円	30円	30円
(I) 収益分配金金額 (F×H/10,000)	2,397,428円	1,891,547円	1,890,526円	1,881,604円	1,945,293円	2,014,543円



## 分配金のお知らせ

	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期
1万口当たり分配金	30円	30円	30円	30円	30円	30円

### 収益分配金の支払いについて

- ・収益分配金は、取扱い販売会社において決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。
- ・分配金再投資コースを選択されている場合は、各決算日の基準価額に基づき、お客様の口座に繰り入れて再投資いたします。

### 収益分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金は、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」の区分があり、分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本を下回る場合は、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

### 受益者別の普通分配金に対する課税について

#### 個人の受益者

20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、および地方税5%)の税率となります。

#### 法人の受益者

個人の受益者とは異なります。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※税法が改正された場合等は、上記の内容が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## お知らせ

該当事項はありません。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2024年4月13日～2024年10月15日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬(基本報酬)	84円	0.521%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は16,179円です。
(投信会社)	(27)	(0.168)	・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(54)	(0.336)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.017)	・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 信託報酬(成功報酬)	－	－	(b) 信託報酬(成功報酬)＝(基準価額(成功報酬控除前)－ハイ・ウォーターマーク)×11%(税抜10%) 信託報酬(成功報酬)は、基本報酬に加えて委託会社が受領する委託した資金の運用の対価
(c) 売買委託手数料	－	－	(c) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	－	－	(d) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	18	0.112	(e) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.002)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.009)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(17)	(0.102)	・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
(その他)	(－)	(－)	・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	102	0.633	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

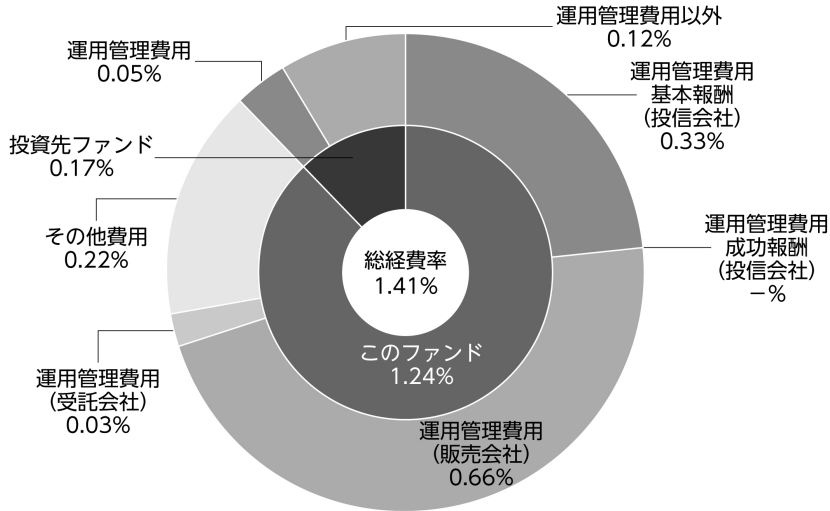
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.41%です。



総経費率 (①+②+③)	1.41%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12%

- (注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
 (注3) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。  
 (注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 売買および取引の状況

### ■投資信託証券

		当 期			
		買 付		売 付	
		単位数又は口数	金 額	単位数又は口数	金 額
国内	楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)	千口 76,216	千円 62,015	千口 34,524	千円 26,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

### 利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

### 自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

### 組入資産の明細

#### ■ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名		当 期 末		
		単位数又は口数	評 価 額	比 率
	楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)	千口 573,159	千円 421,730	% 98.7
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	573,159 1	421,730 <98.7%>	

(注1) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 単位数又は口数、評価額の単位未満は切捨て。

#### ■ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名		当 期 末			
		単位数又は口数	評 価 額		比 率
	外貨建金額		邦貨換算金額		
	SPDR® ブルームバーグ 米国国債1-3ヵ月 ETF	千口 0.093	千米ドル 8	千円 1,274	% 0.3
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	0.093 1	8 -	1,274 <0.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 単位数又は口数、評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位数又は口数、評価額が単位未満となる場合は小数で記載。

## 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	423,005	97.3
短 期 金 融 資 産、そ の 他	11,930	2.7
投 資 信 託 財 産 総 額	434,935	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建資産(1,478千円)の投資信託財産総額(434,935千円)に対する比率は、0.3%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=149.67円です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

### ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年10月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	434,935,414円
コール・ローン等	11,930,040
投資信託受益証券(評価額)	423,005,339
未 収 利 息	35
(B) 負 債	7,681,985
未 払 解 約 金	4,820,289
未 払 信 託 報 酬	2,360,428
そ の 他 未 払 費 用	501,268
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	427,253,429
元 本	280,180,028
次 期 繰 越 損 益 金	147,073,401
(D) 受 益 権 総 口 数	280,180,028口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,249円

(注) 期首元本額 266,650,994円

期中追加設定元本額 51,040,663円

期中一部解約元本額 37,511,629円

### ■損益の状況

(自2024年4月13日 至2024年10月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	12,349,853円
受 取 配 当 金	12,344,589
受 取 利 息	5,264
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△44,263,456
売 買 益	2,796,309
売 買 損	△47,059,765
(C) 信 託 報 酬 等	△2,869,416
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△34,783,019
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	19,407,910
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	162,448,510
(配 当 等 相 当 額)	(293,554,616)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△131,106,106)
(G) 計 (D+E+F)	147,073,401
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	147,073,401
追 加 信 託 差 損 益 金	162,448,510
(配 当 等 相 当 額)	(293,554,616)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△131,106,106)
分 配 準 備 積 立 金	28,888,347
繰 越 損 益 金	△44,263,456

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には成功報酬が含まれます。(消費税相当額を含めて表示しています。)なお、当期における成功報酬はありませんでした。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

項 目	当 期
(A) 配当等収益額 (費用控除後)	9,480,437円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	—円
(C) 収益調整金額	293,554,616円
(D) 分配準備積立金額	19,407,910円
(E) 分配対象収益額 (A+B+C+D)	322,442,963円
(F) 期末残存口数	280,180,028口
(G) 収益分配対象額 (1万口当たり) (E / F × 10,000)	11,508.40円
(H) 分配金額 (1万口当たり)	—円
(I) 収益分配金金額 (F × H / 10,000)	—円

## お知らせ

該当事項はありません。

## ■組入ファンドの概要

以下は、『楽天ボラティリティ・ファンド(毎月分配型)／(資産成長型)』が組み入れている投資信託証券(ファンド)の状況として、当(作成)期末において入手できる直近の情報を掲げております。

	ファンド名	決算日
1	楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)	2024年9月9日
2	SPDR <sup>®</sup> ブルームバーグ 米国国債1-3ヵ月 ETF	2024年6月30日

## 1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

基 本 方 針	この投資信託は、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 な 投 資 対 象	ボラティリティ関連指数に連動する投資商品を主要投資対象とします。為替ヘッジのために為替先渡・予約取引も活用します。
フ ァ ン ド の 特 色 お よ び 投 資 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、ボラティリティ関連指数に連動する投資商品（ボラティリティ関連資産）への投資を行い、投資信託財産の成長を目指します。</li> <li>・ボラティリティ関連資産への投資にあたっては、ボラティリティのトレンドおよび期間構造等を勘案しながら実質的な売り持ち、買い持ちおよびそれら投資比率を決定します。</li> <li>・組入外貨建資産の割合に応じて対円での為替ヘッジを行います。ヘッジ比率は80%程度以上を基本とします。</li> <li>・ただし、資金動向、市況動向等に急激な変化が生じたとき等ならびに投資信託財産の規模によっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。</li> </ul>
ベ ン チ マ ー ク	なし
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合は、転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）の行使により取得したものに限り、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・投資信託証券（但し、金融商品取引所等上場の投資信託証券を除きます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</li> <li>・同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> </ul>
信 託 報 酬	純資産総額に対し、年0.055%（税抜年0.05%）
信 託 財 産 留 保 額	一部解約時の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額
委 託 会 社	楽天投信投資顧問株式会社
受 託 会 社	三井住友信託銀行株式会社（再信託受託会社：株式会社日本カストディ銀行）



# 1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

## ■最近5作成期の運用実績

決算期	基準価額			株式先物 組入比率	公社債 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額	
	(分配落)	税 分 配	込 金 騰 落					中 率
	円	円	%	%	%	%	百万円	
第17作成期	96期(2022年 4月 8日)	6,902	0	3.0	△44.7	63.6	—	1,555
	97期(2022年 5月 9日)	6,480	0	△6.1	△3.3	71.1	—	1,467
	98期(2022年 6月 8日)	6,629	0	2.3	△24.3	62.3	—	1,488
	99期(2022年 7月 8日)	6,455	0	△2.6	△22.7	56.3	—	1,446
	100期(2022年 8月 8日)	6,728	0	4.2	△28.7	53.6	—	1,507
第18作成期	101期(2022年 9月 8日)	6,687	0	△0.6	△20.5	48.2	—	1,489
	102期(2022年10月11日)	6,676	0	△0.2	18.0	58.4	—	1,486
	103期(2022年11月 8日)	6,827	0	2.3	△24.0	58.3	—	1,494
	104期(2022年12月 8日)	6,912	0	1.2	△40.5	54.1	—	1,500
	105期(2023年 1月10日)	7,071	0	2.3	△9.8	51.5	—	1,525
	106期(2023年 2月 8日)	7,218	15	2.3	△21.8	58.4	—	1,554
第19作成期	107期(2023年 3月 8日)	7,165	0	△0.7	△16.4	61.7	—	1,543
	108期(2023年 4月10日)	6,913	10	△3.4	△43.0	62.0	—	1,481
	109期(2023年 5月 8日)	7,075	0	2.3	△15.2	61.8	—	1,514
	110期(2023年 6月 8日)	7,701	10	9.0	△33.1	60.5	—	1,601
	111期(2023年 7月10日)	7,967	0	3.5	△31.1	59.9	—	1,648
	112期(2023年 8月 8日)	7,971	10	0.2	△12.7	65.8	—	1,506
	113期(2023年 9月 8日)	7,991	0	0.3	△29.8	58.0	—	1,499
第20作成期	114期(2023年10月10日)	7,760	10	△2.8	△6.4	60.3	—	1,461
	115期(2023年11月 8日)	7,747	0	△0.2	△24.8	63.7	—	1,409
	116期(2023年12月 8日)	8,041	10	3.9	△44.6	59.2	—	1,432
	117期(2024年 1月 9日)	8,206	0	2.1	△18.7	62.2	—	1,375
	118期(2024年 2月 8日)	8,368	20	2.2	△31.8	54.4	—	1,348
	119期(2024年 3月 8日)	8,224	50	△1.1	△24.4	56.5	—	1,295
第21作成期	120期(2024年 4月 8日)	8,071	50	△1.3	△32.7	59.1	—	1,271
	121期(2024年 5月 8日)	8,026	50	0.1	△20.1	57.6	—	1,332
	122期(2024年 6月10日)	8,149	50	2.2	△39.4	61.1	—	1,265
	123期(2024年 7月 8日)	8,276	10	1.7	△44.6	60.9	—	1,299
	124期(2024年 8月 8日)	8,195	50	△0.4	29.3	55.3	—	1,308
	125期(2024年 9月 9日)	7,265	50	△10.7	△21.9	60.3	—	1,171

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 株式先物組入比率=買建比率-売建比率

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

# 1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

## ■ 当作成期中の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		株式先物 組入比率	公 社 債 組入比率	投資証券 組入比率
		円	騰 落 率			
第120期	(期 首)2024年 3月 8日	8,224	—	△24.4	56.5	—
	3月末	8,367	1.7	△41.5	56.9	—
	(期 末)2024年 4月 8日	8,121	△1.3	△32.7	59.1	—
第121期	(期 首)2024年 4月 8日	8,071	—	△32.7	59.1	—
	4月末	8,035	△0.4	—	62.7	—
	(期 末)2024年 5月 8日	8,076	0.1	△20.1	57.6	—
第122期	(期 首)2024年 5月 8日	8,026	—	△20.1	57.6	—
	5月末	8,065	0.5	△46.4	61.8	—
	(期 末)2024年 6月10日	8,199	2.2	△39.4	61.1	—
第123期	(期 首)2024年 6月10日	8,149	—	△39.4	61.1	—
	6月末	8,192	0.5	△41.0	61.8	—
	(期 末)2024年 7月 8日	8,286	1.7	△44.6	60.9	—
第124期	(期 首)2024年 7月 8日	8,276	—	△44.6	60.9	—
	7月末	8,009	△3.2	4.9	59.1	—
	(期 末)2024年 8月 8日	8,245	△0.4	29.3	55.3	—
第125期	(期 首)2024年 8月 8日	8,195	—	29.3	55.3	—
	8月末	7,769	△5.2	△33.1	57.3	—
	(期 末)2024年 9月 9日	7,315	△10.7	△21.9	60.3	—

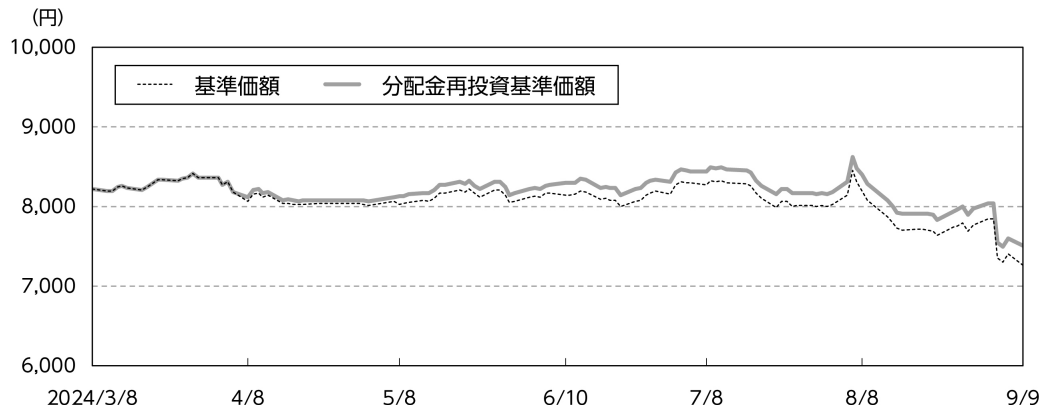
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 株式先物組入比率=買建比率-売建比率

# 1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

## ■ 当作成期中の運用経過と今後の運用方針

### 1. 基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

### 2. 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、ボラティリティ関連指数に連動する投資商品への投資を行います。基準価額の変動要因としては、実質的な最終投資対象であるVIX先物およびVIX先物の原資産であるVIXの値動きが主要な要素となります。

当作成期のVIXは2024年4月にまとまって上昇したほか、8月初旬や期末の9月上旬には急騰するなど、振れ幅が短期間で急拡大する局面が目立ちました。

ポートフォリオではVIX先物の売り持ちを保持する期間が多かったものの、こうしたVIXの値動き等を受けて、4月中旬過ぎや7月終わりから8月にかけてVIX先物の買い持ちを構築しました。しかし、いずれのVIXの上昇も短期間に留まり、すぐに低下する動きとなったことから、VIX先物の買い持ちに切り替わる前の段階でVIX先物の売り持ち高を減らしていた局面や、VIX先物の買い持ちに切り替わった後のタイミングで、保有ポジションからの損失が膨らむ結果となりました。また、9月初旬は売り持ちを構築していたなかでVIX先物が急騰したことから、基準価額が大きく押し下げられました。

# 1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

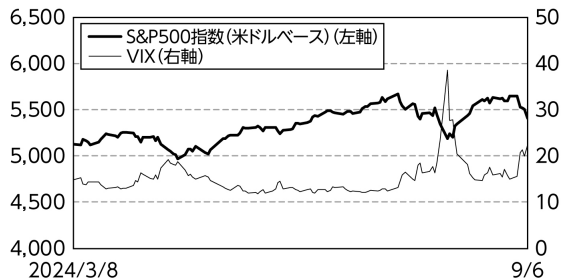
## 3. 投資環境

当作成期の米国株式市場は2024年4月や7月から8月にかけて、および9月上旬にまとまって下落する局面があったものの、基調としての底堅さは失いませんでした。

4月は、FRB(米連邦準備制度理事会)の利下げの必要性を後退させるような経済指標が相次ぐなか、利下げ期待の後退とともに長期金利が大きく上昇し、株価を下押ししました。7月から8月にかけては、民主党の候補者の交代を経て米大統領選挙の不透明感が強まるなかで、企業決算の時期も重なり、これまでの大幅な株価上昇で利益の出ている大型ハイテク株のポジションを一旦閉じる動きが広がりました。また、日本銀行の追加利上げやFRBの利下げ期待の高まり等を受けて円キャリー取引(低い金利の円を借りて米ドル等の外貨に換え、期待リターンの高い資産に投資する手法)の巻き戻しが広がるとともにリスク資産のボラティリティが上昇したほか、雇用統計や景況感指数の下振れを受けて米国景気の減速懸念も高まり、株式市場での売り圧力が急速に強まりました。9月上旬は、米国景気や半導体や生成AI(人工知能)の成長に対する懸念等から再び下落圧力が強まりました。しかし、期を通して、FRBが早期に利下げ姿勢に転換することや、それにより米国経済が支えられてソフトランディング(軟着陸)を達成することへの期待が大きく崩れることは無く、いずれの調整局面もすぐに反転する展開となりました。

こうした株価の変動に合わせて、VIXは4月と7月から8月にかけて、および9月上旬に大きく上昇する推移となりました。4月は株価下落に加え、イスラエルに対するイランのミサイル攻撃とイスラエルによる反撃が伝えられたことも材料に、一時2023年10月以来となる21ポイント台まで上昇しました。7月後半以降は株価軟調のなかで上昇圧力が強まっていき、8月5日には一時、2020年3月のコロナ危機以来の水準である65ポイント台まで急騰しました。また同日は終値ベースでも38.6ポイントと、前営業日終値からの騰落率が+64.9%となり、歴代で2位の前営業日比上昇率となりました。9月も月初に半導体大手エヌビディアの株価が急落するなか、前月末比+30%超の騰落率でVIXが急騰しました。しかし、こうした局面以外ではVIXは節目の20ポイントを下回って推移し、特に株価が安定的に上昇を続けた3月や5月から7月中旬の期間は15ポイントを下回る動きとなりました。

VIX先物の各限月の水準は、4月中旬に第一限月の方が第二限月よりも高い状況が見られたほか、8月にはVIXの動きと合わせて初旬に急騰し、期近限月の価格が期先限月より高くなる、相場急変時の形状に急変しました。しかし、いずれの局面も、こうした期近価格の方が高い環境は長続きせず、当期の大半の期間でコンタンゴ(期近の限月ほど価格が低い状況)が形成されました。ただし、11月の米大統領選挙の不透明感が増すなか、選挙直前に満期を迎える10月限月の価格が、11月限月や12月限月よりも高くなる傾向は継続的に観測されました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

## 1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

### 4. 当ファンドのポートフォリオ

ポートフォリオにおいては、VIXが上昇し、限月毎のVIX先物の価格状況が変化した2024年4月や7月から8月にかけて、それまで保有していたVIX先物の売り持ち残高を減らした後、VIX先物の買い持ちに切り替えました。しかし、いずれのVIXの上昇も短期間に留まり、すぐに低下する動きとなったことから、VIX先物の売り持ち高を減らしていた局面や、VIX先物の買い持ちに切り替わった後のタイミングで保有ポジションからの損失が膨らむ結果となりました。また、9月上旬はVIX先物の売り持ちを保持していた状況でVIX先物が急騰し、基準価額を大きく押し下げました。一方、3月や5月から7月半ばにかけては、VIX先物がコンタンゴを形成しながら低位に推移するなか、VIX先物の売り持ちから収益を積み重ねました。

なお、米ドル建て資産に対する為替ヘッジ比率については、90%超の水準を維持し、為替変動による影響を抑制する運用を行いました。

### 5. 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### 6. 今後の運用方針

今後も、平常時と判断される局面では、VIX先物の売り持ちポジションを保有し、相場の大きな変動を受け、平常時からの転換が認められた際には、段階的にVIX先物の買い持ちポジションに切り替える運用を基本的な手法とします。

VIX先物は変動性の高い資産であり、VIX先物の売り持ちを行っている場合に、予期せぬ材料で相場急変が生じ、それを受けてVIXが急騰するような場面では、短期的に大きな損失を被ることが想定されます。また、相場急変を受けて、ポートフォリオがVIX先物の買い持ちに転じた後に、相場異変の懸念が一過性のものに終わり、VIXが急落するような場合にも損失を被ると想定されることにはご注意ください。

当ファンドにおける運用スタイルは、株式等、一般的なリスク資産の市場における平常時、暴落時双方での高い収益力と、その反面時折起こる一過性の市場急変において受ける損失とを総合して、中長期的に高い収益を獲得するというものです。今後もVIX先物のポジションを機動的に変動させることにより、市場平常時の収益力と、株式等の暴落時におけるヘッジ効果を両立させる運用を目指してまいります。

なお、外貨建て資産は、80%以上を基本として対円での為替ヘッジを行います。

## ■1万口当たりの費用明細

項目	当作成期	
	金額	比率
(a) 信託報酬	2円	0.028%
(販売会社)	(0)	(0.006)
(受託会社)	(2)	(0.022)
(b) 売買委託手数料	10	0.121
(先物・オプション)	(10)	(0.121)
(c) その他費用	5	0.063
(保管費用)	(2)	(0.022)
(その他)	(3)	(0.041)
合計	17	0.212

期中の平均基準価額は8,072円です。

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、費用項目については10ページ(1万口当たりの費用の明細の項目の概要)をご参照下さい。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

# 1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

## ■売買および取引の状況

### ●公社債

			当 作 成 期	
			買 付 額	売 付 額
外国	アメリカ	国債証券	千米ドル 5,861	千米ドル — (6,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

## ■派生商品の取引状況等

### ●先物取引の銘柄別取引・残高状況

銘 柄 別		当 作 成 期				当作成期末評価額		
		買 建		売 建		買建額	売建額	評価損益
		新規 買付額	決済額	新規 売付額	決済額			
外国		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
	株式先物取引							
	CBOE VIX FUT	470	426	2,602	2,730	—	256	△36

(注) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

## ■自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

# 1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

## ■組入資産の明細

### ●外国(外貨建)公社債種類別

区 分	当 作 成 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千米ドル 5,000	千米ドル 4,950	千円 706,784	% 60.3	% —	% —	% —	% 60.3
合 計	5,000	4,950	706,784	60.3	—	—	—	60.3

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。小数点以下第2位を四捨五入。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

### ●外国(外貨建)公社債銘柄別

銘 柄 名	当 作 成 期		末		償還年月日
	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	評 価 額	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ) 国債証券	%	千米ドル	千米ドル	千円	
US Treasury B 01/23/25	—	1,000	982	140,263	2025/1/23
US Treasury B 09/06/24	—	1,000	997	142,436	2024/9/26
US Treasury B 10/24/24	—	1,000	993	141,884	2024/10/24
US Treasury B 11/21/24	—	1,000	989	141,346	2024/11/21
US Treasury B 12/19/24	—	1,000	986	140,853	2024/12/19
合 計				706,784	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

### ●先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別	当 作 成 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外 国	百万円	百万円
株式先物取引		
CBOE VIX FUT	—	256

(注) 単位未満は切捨て。

# 1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

## ■投資信託財産の構成

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 706,784	% 58.1
短 期 金 融 資 産、そ の 他	509,088	41.9
投 資 信 託 財 産 総 額	1,215,872	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建資産(1,082,311千円)の投資信託財産総額(1,215,872千円)に対する比率は、89.0%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=142.78円です。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

### ●資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年4月8日)、(2024年5月8日)、(2024年6月10日)、(2024年7月8日)、(2024年8月8日)、(2024年9月9日)現在

項 目	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
(A)資 産	2,540,119,680円	2,541,107,944円	2,464,602,983円	2,511,223,338円	2,448,004,701円	2,290,531,801円
コール・ローン等	347,508,671	433,795,393	275,204,824	277,529,655	469,117,199	296,116,717
公 社 債(評価額)	752,083,236	767,228,878	773,578,827	791,610,885	723,381,076	706,784,500
未 収 入 金	1,209,461,460	1,189,656,297	1,198,991,821	1,200,912,489	1,161,529,451	1,086,833,825
未 収 利 息	8	37	11	9	417	257
そ の 他 未 収 収 益	44,622	47,905	6,294	9,970	12,950	15,993
差 入 委 託 証 拠 金	231,021,683	150,379,434	216,821,206	241,160,330	93,963,608	200,780,509
(B)負 債	1,268,533,774	1,209,090,903	1,199,349,982	1,211,316,096	1,139,719,809	1,118,946,963
未 払 金	1,257,507,232	1,196,649,600	1,188,427,020	1,209,611,925	1,131,588,900	1,110,732,988
未 払 収 益 分 配 金	7,877,270	8,298,479	7,762,967	1,570,681	7,982,212	8,063,078
未 払 解 約 金	2,999,999	3,999,999	3,000,000	—	—	—
未 払 信 託 報 酬	61,099	57,535	66,176	53,886	60,564	59,921
そ の 他 未 払 費 用	88,174	85,290	93,819	79,604	88,133	90,976
(C)純資産総額(A-B)	1,271,585,906	1,332,017,041	1,265,253,001	1,299,907,242	1,308,284,892	1,171,584,838
元 本	1,575,454,111	1,659,695,932	1,552,593,591	1,570,681,520	1,596,442,572	1,612,615,639
次 期 繰 越 損 益 金	△303,868,205	△327,678,891	△287,340,590	△270,774,278	△288,157,680	△441,030,801
(D)受 益 権 総 口 数	1,575,454,111口	1,659,695,932口	1,552,593,591口	1,570,681,520口	1,596,442,572口	1,612,615,639口
1万口当たり基準価額(C/D)	8.071円	8.026円	8.149円	8.276円	8.195円	7.265円

(注) 期首元本額は1,575,435,770円、第120～125期中追加設定元本額は250,260,239円、第120～125期中一部解約元本額は213,080,370円です。



# 1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

## ●損益の状況

第120期(自2024年3月9日 至2024年4月 8日) 第123期(自2024年6月11日 至2024年7月8日)  
 第121期(自2024年4月9日 至2024年5月 8日) 第124期(自2024年7月 9日 至2024年8月8日)  
 第122期(自2024年5月9日 至2024年6月10日) 第125期(自2024年8月 9日 至2024年9月9日)

項 目	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
(A)配当等収益	938,885円	1,311,393円	1,239,599円	966,849円	860,540円	965,490円
受取利息	760,288	1,080,241	1,060,404	830,004	661,260	768,549
その他収益	178,777	231,152	179,195	136,845	199,280	196,941
支払利息	△180	—	—	—	—	—
(B)有価証券売買損益	△1,099,229	△1,015,124	△2,082,574	△407,194	△8,404,717	△4,362,122
売買益	46,359,071	60,722,506	34,287,697	42,062,696	133,642,922	24,502,729
売買損	△47,458,300	△61,737,630	△36,370,271	△42,469,890	△142,047,639	△28,864,851
(C)先物取引等取引損益	△15,916,519	992,249	27,604,682	21,083,410	2,727,727	△137,818,980
取引益	1,085,825	11,419,040	27,604,682	23,760,005	49,079,150	—
取引損	△17,002,344	△10,426,791	—	△2,676,595	△46,351,423	△137,818,980
(D)信託報酬等	△193,829	△188,668	△207,437	△181,112	△196,031	△195,123
(E)当期損益金(A+B+C+D)	△16,270,692	1,099,850	26,554,270	21,461,953	△5,012,481	△141,410,735
(F)前期繰越損益金	5,718,206	△17,610,933	△22,636,627	△3,775,458	16,041,013	3,054,990
(G)追加信託差損益金	△285,438,449	△302,869,329	△283,495,266	△286,890,092	△291,204,000	△294,611,978
(追加等相当額)	(1,245,293)	(2,639,112)	(2,557,629)	(2,520,616)	(2,943,937)	(3,095,187)
(売買損益相当額)	(△286,683,742)	(△305,508,441)	(△286,052,895)	(△289,410,708)	(△294,147,937)	(△297,707,165)
(H)計(E+F+G)	△295,990,935	△319,380,412	△279,577,623	△269,203,597	△280,175,468	△432,967,723
(I)収益分配金	△7,877,270	△8,298,479	△7,762,967	△1,570,681	△7,982,212	△8,063,078
次期繰越損益金(H+I)	△303,868,205	△327,678,891	△287,340,590	△270,774,278	△288,157,680	△441,030,801
追加信託差損益金	△285,438,449	△302,869,329	△283,565,132	△286,890,092	△291,204,000	△294,611,978
(配当等相当額)	(1,245,293)	(2,639,112)	(2,487,763)	(2,520,616)	(2,943,937)	(3,095,187)
(売買損益相当額)	(△286,683,742)	(△305,508,441)	(△286,052,895)	(△289,410,708)	(△294,147,937)	(△297,707,165)
分配準備積立金	14,161,431	6,706,040	430	16,115,814	8,723,310	1,421,038
繰越損益金	△32,591,187	△31,515,602	△3,775,888	—	△5,676,990	△147,839,861

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益及び(C)先物取引等取引損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## <分配金の計算過程>

項 目	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
(A)配当等収益額(費用控除後)	745,056円	1,122,725円	1,229,995円	958,753円	664,509円	770,367円
(B)有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	—円	—円	—円	16,727,312円	—円	—円
(C)収益調整金額	1,245,293円	2,639,112円	2,557,629円	2,520,616円	2,943,937円	3,095,187円
(D)分配準備積立金額	21,293,645円	13,881,794円	6,463,536円	430円	16,041,013円	8,713,749円
(E)分配対象収益額(A+B+C+D)	23,283,994円	17,643,631円	10,251,160円	20,207,111円	19,649,459円	12,579,303円
(F)期末残存口数	1,575,454,111口	1,659,695,932口	1,552,593,591口	1,570,681,520口	1,596,442,572口	1,612,615,639口
(G)収益分配対象額(1万円当たり) (E/F×10,000)	147円	106円	66円	128円	123円	78円
(H)分配金額(1万円当たり)	50円	50円	50円	10円	50円	50円
(I)収益分配金額 (F×H/10,000)	7,877,270円	8,298,479円	7,762,967円	1,570,681円	7,982,212円	8,063,078円

## 1. 楽天ボラティリティ・ファンド(適格機関投資家専用)

### ■ 分配金のお知らせ

	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期
1万口当たり分配金	50円	50円	50円	10円	50円	50円

### ■ お知らせ

該当事項はありません。

## 2. SPDR® ブルームバーグ 米国国債1-3ヵ月 ETF

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 会 社	SSgAファンズ・マネジメント・インク
実質的な主要投資対象	残存期間1ヵ月以上3ヵ月未満の米国財務省証券
運 用 の 基 本 方 針	ブルームバーグ米国国債(1-3ヵ月)指数に連動する運用成果を目指す
管 理 報 酬 等 (年)	0.1356%

## 2. SPDR® ブルームバーグ 米国国債 1-3 ヶ月 ETF

### ■ 損益計算書

(2024年6月30日に終了する計算期間)

### SPDR SERIES TRUST STATEMENTS OF OPERATIONS For the Year Ended June 30, 2024

	SPDR Bloomberg 1-3 Month T-Bill ETF
<b>INVESTMENT INCOME</b>	
Interest income — unaffiliated issuers .....	\$1,708,127,370
Dividend income — affiliated issuers .....	15,715,556
Unaffiliated securities lending income .....	1,417,075
Affiliated securities lending income .....	2,866,537
Foreign taxes withheld .....	—
<b>TOTAL INVESTMENT INCOME (LOSS) .....</b>	<b>1,728,126,538</b>
<b>EXPENSES</b>	
Advisory fee .....	43,258,120
Trustees' fees and expenses .....	329,437
Miscellaneous expenses .....	34,694
<b>TOTAL EXPENSES .....</b>	<b>43,622,251</b>
<b>NET INVESTMENT INCOME (LOSS) .....</b>	<b>\$1,684,504,287</b>
<b>REALIZED AND UNREALIZED GAIN (LOSS)</b>	
Net realized gain (loss) on:	
Investments — unaffiliated issuers .....	(1,959,117)
Investments — affiliated issuers .....	—
In-kind redemptions — unaffiliated issuers .....	106,961
Foreign currency transactions .....	—
Futures contracts .....	—
Net realized gain (loss) .....	(1,852,156)
Net change in unrealized appreciation/depreciation on:	
Investments — unaffiliated issuers .....	(7,145,482)
Investments — affiliated issuers .....	—
Foreign currency translations .....	—
Futures contracts .....	—
Net change in unrealized appreciation/ depreciation .....	(7,145,482)
<b>NET REALIZED AND UNREALIZED GAIN (LOSS) .....</b>	<b>(8,997,638)</b>
<b>NET INCREASE (DECREASE) IN NET ASSETS FROM OPERATIONS .....</b>	<b>\$1,675,506,649</b>

## 2. SPDR® ブルームバーグ 米国国債1-3ヵ月 ETF

### ■組入資産の明細

(2024年6月30日現在)

### SPDR BLOOMBERG 1-3 MONTH T-BILL ETF SCHEDULE OF INVESTMENTS June 30, 2024

Security Description	Principal Amount	Value	Security Description	Shares	Value
<b>U.S. TREASURY OBLIGATIONS — 99.5% (a)</b>			<b>SHORT-TERM INVESTMENTS — 8.3%</b>		
U.S. Treasury Bills:			State Street Institutional U.S. Government Money Market Fund, Class G		
2.67%, 7/2/2024 . . . . .	\$ 158,339,000	\$ 158,315,818	Shares 5.29% (c) (d) . . . . .	31,267,429	31,267,429
4.09%, 7/5/2024 . . . . .	968,681,000	968,113,421	State Street Navigator Securities Lending Portfolio II (e) (f) . . . . .	2,659,360,250	\$ 2,659,360,250
4.75%, 7/9/2024 . . . . .	17,218,000	17,198,017	<b>TOTAL SHORT-TERM INVESTMENTS</b>		
4.87%, 7/11/2024 . . . . .	309,739,000	309,287,153	(Cost \$2,690,627,679) . . . . .		2,690,627,679
4.90%, 7/25/2024 . . . . .	247,528,000	246,664,127	<b>TOTAL INVESTMENTS — 107.8%</b>		
4.93%, 8/1/2024 (b) . . . . .	3,003,249,000	2,989,666,626	(Cost \$35,066,197,244) . . . . .		35,065,936,909
5.02%, 7/16/2024 . . . . .	418,362,000	417,445,963	<b>LIABILITIES IN EXCESS OF OTHER ASSETS</b>		
5.04%, 7/18/2024 . . . . .	158,099,000	157,706,299	— (7.8)% . . . . .		(2,549,467,548)
5.11%, 8/22/2024 (b) . . . . .	1,949,603,000	1,934,884,336	<b>NET ASSETS — 100.0%</b> . . . . .		<u>\$32,516,469,361</u>
5.12%, 7/30/2024 . . . . .	616,140,000	613,534,239			
5.13%, 7/23/2024 . . . . .	412,538,000	411,214,442	(a) Rate shown is the discount rate at time of purchase, not a coupon rate.		
5.15%, 9/12/2024 . . . . .	2,131,028,000	2,108,393,819	(b) All or a portion of the shares of the security are on loan at June 30, 2024.		
5.18%, 9/26/2024 . . . . .	2,081,028,000	2,054,750,693	(c) The Fund invested in certain money market funds managed by SSGA Funds Management, Inc. Amounts related to these investments during the year ended June 30, 2024 are shown in the Affiliate Table below.		
5.21%, 8/8/2024 (b) . . . . .	3,570,191,000	3,550,434,455	(d) The rate shown is the annualized seven-day yield at June 30, 2024.		
5.21%, 8/13/2024 . . . . .	1,529,576,000	1,519,999,508	(e) The Fund invested in an affiliated entity. Amounts related to these investments during the year ended June 30, 2024 are shown in the Affiliate Table below.		
5.23%, 8/6/2024 (b) . . . . .	1,494,159,000	1,486,352,572	(f) Investment of cash collateral for securities loaned.		
5.23%, 8/15/2024 (b) . . . . .	1,849,603,000	1,837,484,919			
5.25%, 8/20/2024 (b) . . . . .	1,779,576,000	1,766,606,112			
5.25%, 9/3/2024 . . . . .	791,849,000	784,471,081			
5.25%, 9/5/2024 (b) . . . . .	2,525,342,000	2,501,178,518			
5.26%, 8/27/2024 (b) . . . . .	804,229,000	797,550,216			
5.26%, 9/10/2024 . . . . .	891,849,000	882,640,151			
5.28%, 8/29/2024 (b) . . . . .	2,047,753,000	2,030,117,014			
5.28%, 9/17/2024 (b) . . . . .	541,849,000	535,725,971			
5.28%, 9/19/2024 . . . . .	1,781,028,000	1,760,392,814			
5.28%, 9/24/2024 . . . . .	541,849,000	535,180,946			
<b>TOTAL U.S. TREASURY OBLIGATIONS</b>					
(Cost \$32,375,569,565) . . . . .		<u>32,375,309,230</u>			